

第五十六回
帝國議會
貴族院

酒造組合法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和四年三月二十二日(金曜日)午後一時
五十九分開會

○委員長(土方寧君) ソレデハ是カラ委員
會ヲ開キマス、前回ニ少シバカリ御質問ガ
アリマシタケレドモ、續イテ質問ヲサレ
タイ方ハドウカ御自由ニ御願イタシマス

○子爵織田信恒君 政府委員ニ伺ヒタイト
思ヒマスガ、此處ニ過息金ト云フノガゴザ
イマスガ、此過息金ノ内容ヲ御説明願ヒタ
イト思ヒマス

○政府委員(藤井直信君) 過息金ト申シテ
居リマスノハ現在ハ勅令デ決メテ居ルノデ
アリマスガ、定款ニ違反イタシマシタ場合
ニ過息金ヲ徵ルト云フヤウナコトニ決メテ
居ルモノガアリマスノデ、例ヘバ非常ニ安
ク酒ヲ濫賣スルヤウナコトハ止サウデヤナ
イカト云フヤウナ相談ヲ致シマシテ、當業
者デハサウ云フ相談ヲシテ居ルニ拘ラズ、
約束ニ背イテ特ニ廉賣ヲシタト云フヤウナ
場合ニ、矢張過息金ヲ徵ルト云フヤウナコ
トガアリ得ルヤウデアリマスカラ、實際此
規定ノ適用ヲ受ケルノハ、主トシテ經費ノ
方デアリマシテ、過息ノ方ニ付テサウ適用
ヲ受ケルヤウナ場合ハ少カラウカト思ヒマ
ス、他ノ類似ノモノハ矢張文例ガ斯ウ云フ

風ニナッテ居リマスノデ、他ノ例ニ倣ッタ
ト云フニ過ギマセヌ

○男爵北河原公平君 此組合員ニ對シテ經
費ヲ分賦シ又ハ過息金ノ徵收ニ關シマシテ
ハ勅令ヲ以テ御定メニナルヤウデゴザイマ
スガ、此勅令ノ案トデモ申シマスガ、腹案
デモ宜シウゴザイマスカラ、御有テデゴザ
イマシタナラバ承リタイト思ヒマス

○政府委員(藤井眞信君) 只今ノ酒造組合
法ニ矢張り施行規則ト申シマスル勅令ガ出
テ居リマス、ソレデ此酒造組合ニ關スル細
カイ規定ヲ勅令デ規定イタシテ居ルノデア
リマスガ、經費ノ方ハ主トシテ酒造組合ノ
定款デ定メルコトニナッテ居リマスノデ、今
回ノ法案ニ於キマシテモ、定款ノ定ムル所
ニ依リ經費ヲ分賦シ過息金ヲ徵收スルコト
ヲ得、斯ウ云フコトニ致シテ居リマスノデ、
唯此五條ノ二ノ最後ノ項ニ於キマシテ、異
議ノ申立、訴願、訴訟ノコトハ、是ハ勅令
ニ依ラナケレバナラヌカト思ヒテ居リマス
ガ、現在ノ狀態ニ於キマシテ經費及過息金
ノ事ハ定款デ決メルヤウニナッテ居リマス
ノデ、各酒造組合ノ定款デ決メサシテ、其
定款ハ勿論政府ノ許可ヲ受ケルコトニナッ
テ居リマスノデ、若シ不當ノ規定ガアリマ

スレバ、是ハ直サスコトニ致シマスガ、適
當ト認メマスレバ其定款ヲ認メタイ、斯ウ
云フコトデ進ンデ行キタイト思ヒテ居リマ
ス

○男爵北河原公平君 此中央組合ノ... 中
央詰リ酒造組合中央會ノ費用ハ矢張聯合酒
造組合ノ聯合會ガ負擔ヲスル、又聯合會ハ
組合ニ負擔ヲサス、斯ウ云フ風ニナルガラ
ウト想像イタシマスガ、ソコデ組合ハ組合
ノ定款ニ依ッテ組合ノ經費ヲ定メ、ソレカラ
聯合組合ハ聯合組合ノ定款ニ依ッテ定メル、
中央會ノ方ハ非常ニ定メ易イノデゴザイマ

中央會ノ方ハ非常ニ定メ易イノデゴザイマ
スケレドモ、聯合會及組合ノ方デハ豫メ中
央並ニ聯合會ノ分賦サル可キ經費ヲ豫想シ
マシテ、ソレヲ定款ニ於テ定メナクチャナ
ルマイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウシ
マセヌト不意ニ中央若クハ聯合會カラ分賦
金ヲ命ジラレマシテモ、定款以外ノ支出ハ
組合トシテ非常ニ困難ナ場合ガ出テ參リハ
シナイカト存ジマスルノデスガ、其邊ノ聯
絡ハドウ云フ風ニ御取扱ニナル御積リデゴ
ザイマスガ

ト云フモノニ分賦スルコトニナリマス、ソ
レカラ聯合會ハ之ヲ組織シテ居リマス組合
ニ分賦スルコトニナリマス、組合ハ更ニソ
レヲ組織シテ居ル組合ニ分賦スル、斯ウ云
フ順序ニナリマシテ、中央會ナリ聯合會ハ
經費ガ若シ非常ニ多額ニ上ボルヤウナコト
ガアリマスレバ、ソレヲ分賦ヲ受ケル方ノ
其組織者ニ於テハ、ソレニ準ジテ、更ニ經費
ヲ徵收シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ
ナル筈デアリマスガ、御承知ノ如ク、或ハ
組合ト云ヒ、聯合會ト云ヒ、中央會ト申シ
マシテモ實ハ極メテ密接ナ關係ヲ有ッテ居
ル當業者ノ人ミデアリマスルシ、聯合會ナ
リ組合ノ非常ニ困難ヤウナ經費ヲ中央會ガ
分賦スルコトモゴザイマセヌシ、又聯合會
ト致シマシテモ其所屬組合ガ到底負擔ノ經
費ノ調達ニ困ルヤウナ分賦ヲ致スヤウナコ
トモアル筈ガナイノデアリマシテ、順次、
組合、聯合會、中央會ト斯ウ段階ハ付キマ
スガ、非常ニ密接ナ聯絡ヲ有ッテ居ル當業者
ノコトデアリマスノデ、其間ニ不都合ヲ生
ズルコトハナカラウカト存ジテ居リマス

○男爵北河原公平君 只今政府委員ノ御説
明ハ了承出來マシタノデアリマスガ、兎角
從來、組合ナリ、何ナリナドノ弊害ヲ聞イ

テ居リマスノニ、其組合ノ中デ組合ノ圓滿ナル發展ヲ期スル爲ニ種々施設ヲイタシマス場合ニ、各組合ノ利害得失ヲ十分ニ考慮イタシテ、其施設スル場處、施設ノ目的等ヲ定メテ居リマス、何等不滿ガナイノデゴザイマスガ、往々ニシテ中央若ハ聯合組合ノ役員ノ、詰リ組合員カラ申シマスト專横ト云フヤウナ意味カラ、其施設ノ目的物ニ依リマシテハ、其場所、施設ノ程度等ガ、組合員ノ多數ノ意向ニ反シタヤウナ場所ニ設置、若ハ計畫サレルト云フヤウナコトガアリマス結果、此組合費ヲ出スト云フコトハ、只今仰セノ通り、各組合員ノ利益ノ爲ニナサレルコトデアリマスカラ、十分承知イタシテ居リマスノデアリマスガ、ソレ等ノ幾多ノ施設或ハ發展ヲ期セラレル爲ニ設ケラレルコトガ、多數ノ組合員ノ不滿ナ點ガアリマス爲ニ、兎角此經費ノ支出ニ付キマシテハ、各組合毎ニ問題ガ起キテ參ルト思フノデアリマス、其際ニ此強制徵收ナゾゴザイマス、前回ニモ述べマシタ通り、却テ此強制徵收ノ爲ニ、其邊ガ圓滑ニ行カナイ虞ガアリヤシナイカ、若シ之ヲ自然ニ置イテ置キマスレバ、組合ノ幹部ト申シマス方面カラ能ク各組合員ノ意中ニ這入リマシテ、諒解ヲ求メルコトニ努力イタシマスケレドモ、斯ウ云フ風ニ法ヲ以テ定メラレルト云フコトニナリマス、ドチラニシタ所

デ、若シ万一行カケレバ強制徵收ガ出來ルノダカラト云フヤウナコトデ、唯サハ弊害ガ起リ得ベキ幹部ノ專横ガ、是ガ爲ニ餘計サウ云フ風ニ誘發スル虞ガアリヤシナイカ、斯様ニ考ヘマスノデ政府ノ方デハサウ云フ心配ハ要ラヌト云フ御考デゴザイマスガ、一應承テ置キタイト思ヒマス
○政府委員(藤井眞信君) 過日モ申上ゲマシタ如ク、政府ノ趣旨ト致シマス所ハ、此經費ノ強制徵收其他ノ規定ノ改正ニ依リマシテ、組合ナリ、聯合會ナリ、中央會ナリガ、全體ノ圓滿ニ話合ヲ進メテ、ソレデ以テ全體トシテ、酒造業ノ改良發達ヲ圖ルノニ便シタイト云フ趣旨ニ出テ居リマスノデ、此規定ヲ設ケマシタガ爲ニ、却テ幹部ト云ヒマスカ、其主ナル人々ノ專横ヲ逞シクスト云フヤウナコトニ對シテハ、出來ルダケ之ヲ阻止スル積リデアリマシテ、從來ト雖モサウ云フ時ニハ出來ルダケノ政府ノ方ニ於キマシテモ注意ヲ致シマシテ、幹部ノ人ト組合員トノ間ニ意思ノ疏通ヲ缺イタト認メラレルヤウナ場合ニハ、或ハ稅務監督局長ヲ通ジ、或ハ稅務署長ヲ通ジ、時ト場合ニ依リマシテハ、本省ガ直接ソレ等ノ人ニ出會ヒマシテ、酒造業トシテノ發達ヲ圖ル爲ニハ成ルベク圓滿ニ話ヲ進メテ行クヤウニシヤウデヤナイカト云フ勸告ヲ試ミマシテ、幸ニ私共ノ承知イタシテ居ル場

合ニ於キマシテハ、從來圓滿ナル解決ヲ告ゲタ例ガアルノデアリマシテ、只今ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、ソレ等ノ御心配モ御尤モト思ヒマスノデ、是カラ後ニ於キマシテモ、勿論政府ト致シマシテハ十分其點ニハ注意イタシマシテ、兎ニ角折角組織的ニ組合聯合會等ガ今日起テ參リマシテ、酒造業ノ爲ニ、或ハ講習會ヲ設ケ、或ハ研究所ヲ設ケ、品評會ヲ開クト云フヤウニ、色々ナ方法デ以テ活動ヲ始メカケテ居リマスノデ、茲デ酒造組合ナルモノヲ今少シク基礎ヲ鞏固ニシ、ソレ等ノ活動ヲ便ナラシメマシテ、酒造業トシテノ全體ノ發達ヲ期シタイト云フ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマスカラ、今後ニ於テモ、其點ニ付テハ十分政府トシテ監督上ノ注意ヲ拂フ積リデ居リマスノデ、此規定ヲ設ケマシタガ爲ニ却テ幹部ノ專横ヲ甚シクセシムルコトハナイヤウニ努メテ行キタイト考ヘテ居リマス
○委員長(土方寧君) チョット伺ヒマスガ、今マデノ處デハ滯納者ハ随分多イノデスカ
○政府委員(藤井眞信君) 滯納者ト云フノハ非常ニ多イト云フ程デモナイノデアリマスガ、最近ノ數字ヲ見マス、大正十五年昭和元年度ニ於キマシテハ、酒造組合トシマシテ二万數千圓ノ滯納ガアル譯デアリマス、組合ノ經費ガ約四十万圓バカリニナッテ居リマスノデ、サウ非常ニ多イト云フ程デ

モナイノデアリマスケレドモ、二万數千圓ニナッテ居ルト云フ状態ニナッテ居リマス
○委員長(土方寧君) 其滯納ガアツタ場合ニ、今迄ノ處デハ、今度ノ改正ノヤウニ強制徵收ノ方法ハナイカラ訴訟デモスルノデスカ
○政府委員(藤井眞信君) 實ハ當業者ノ仲間デスカラ、民事訴訟ノ手續デ行政的ニ取ルト云フコトハ、ヤッテヤレヌコトハナイノデスケレドモ、今マデノ處ハ其儘ニナッテ居ル分ガ殆ド大部分ト承知シテ居リマス
○子爵舟橋清賢君 近頃釀造ニ依ラザル化學的方法ヲ以テ作りマス合成酒ト云ヒマスカ、例ヘバ理研酒ト云フモノ、アレハ此組合法規ノ適用ヲ受ケル譯デスカ
○政府委員(藤井眞信君) 普通ニ此合成酒ト云フテ居リマスノハ、大部分ハ酒造稅法ノ規定ニハ關係シナイノデアリマシテ、普通ニハ酒トハ申シテ居リマスケレドモ、稅ノ關係カラ云ヒマスレバ、酒精含有飲料ト云フ、別ノ法律ノ適用ヲ受ケルコトニナッテ居リマスノデ、此酒造組合ニハ關係ハナイト御諒解ヲ願フテ宜カラウト思ヒマス
○子爵舟橋清賢君 アレハ飲ンデ見レバ釀造ノ酒トチットモ味ガ變ラナイダラウト思ヒマス、サウシテ現在營業トシテ酒屋デ賣ッテ居リマスガ、酒トシテノ御取扱ハナイト云フト、酒精含有飲料トシテ、税金ガ大分

違フヤウニ思ヒマスガ、此點ハドウデスカ

○政府委員(藤井眞信君) 御承知ノ如ク理

化學研究所デ研究ヲサレマシテ、最近ニ賣
出サレテ、市場ニモ出テ居リマスノデスカ、
私共關係イタシテ居リマス醸造試験所ニ於
キマシテモ研究イタシマシテ、相當ノ品質
ノモノハ出來ルヤウニナッテ居リマス、
併シ是ハ唯酒精ト其他ノ藥品ヲ混合イタシ
マシテ造ルノデアリマシテ、普通ノ從來ノ
酒屋ノ造テ居ルノトハ、マルデ組織モ何モ
違フノデアリマシテ、税金ノ關係カラ云ヒ
マシテモ、酒造税法ノ一石四十圓ト云フ適
用ヲ受ケマセヌ、酒精含有飲料税法ノ適用
ヲ受ケル、斯ウ云フ状態ニアリマシテ、將
來ノ問題ト致シマシテハ、斯ウ云フモノガ
比較的安ク、而モ米ノ原料ヲ用ヒズシテ、
從來ノ清酒ノ如キモノガ造ラレルト云フコ
トニナリマシテ、是ガ廣ク用ヒラレルト云
フコトニナレバ、更ニ税法ノ取扱ノ上ニ考
慮ヲシナケレバナラヌカモ知レマセヌガ、
從來ノ清酒トハ全ク製造ノ方法ガ違ヒマス
ルカラ、酒造税法ノ中ニハ這入ッテ居ナイ、
斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○委員長(土方寧君) モウ既ニ多少賣出シ

テ居ルヤウデスカ、從來ノ酒ト、理化學研
究所ノ合成酒デスカ、賣捌クノニ將來競争
ハ起ラヌノデスカ、マダソナナ兆候ハナイ
ノデスカ

○政府委員(藤井眞信君) 只今ノ所ハマダ

ソコマデ至ッテ居ナイノデス、理化學研究
所デ最近出サレテ居リマス利久ト言ッテ居
リマスガ、是ハ比較的甘口デアリマシテ、
普通ノ方ガ御飲ミニナリマシテモ相當ニ飲
マレルト云フ評判ガアルノデアリマスガ、
醸造試験所デ造ッテ居リマスノモ、實ハヤレ
バ相當ノモノガ出來ルト云フ自信ヲ持ッテ、
今研究ヲ進メテ居リマス、是カラ先キ如何
ヤウニ變更シテ參リマスカ、是ハ全ク米ヲ
使ヒマセヌノデ、芋トカ其他ノモノデ造ッ
テ酒精ヲ水ニ混ぜマシテ、ソレニ各種ノ藥品
ヲ加ヘマシテ、全ク合成のニ依ッテ居ル酒
デアリマシテ、本當ノ酒ヲ好マレル人カラ
見マスト、矢張り味合ニ於テ相違ガアルサ
ウデアリマスガ、普通ノ方ガ御飲ミニナル
ト、矢張り時ニ依ルト、純粹ノ清酒デア
カドウカ區別ノツカヌ程度ニマデ良イモノ
ガ出來ルノデヤナイカト思ヒマスノデスカ
ガ、今ノ所ハマダ其販路モサウ廣クナッテ居
リマセヌ、將來ハドウナルカ分リマセヌガ、
只今ノ税法ノ扱ニ於テハ、一方ハ酒精含有
飲料税法デ、一方ハ酒造税法、斯ウ云フコ
トニナッテ居リマス

○子爵舟橋清賢君 現在合成酒ハドウ位出

來マスカ
○政府委員(藤井眞信君) 今此處ニ數字ハ
持チマセヌ、極ク僅カデアリマシテ、普通

ノ酒ハ五百万石前後出來テ居リマスガ、到

底其纏ッテ數字ニハナラナイ筈デアリマス
○委員長(土方寧君) 是ハ形式的ノコトデ
スガ、五條ノ此所ハ、五條ハ一項シカナク
ノカ、一項二項ト幾段ニモナッテ居リマシ
タカ、ソレカラ先ノ方ヘ行ッテ、五條ノ二第
項乃至第四項ト云フノモ妙ナ言ヒ方デス
ガ、テヨット形式ガオカシイ、五條ノ二ノ
項ト云フノハ、三項ノ意味デスカ今ノ文例
カラ言フトオカシイ

○政府委員(藤井眞信君) 此法律ヲ改正イ
タシマス場合ニ相當改正ノ條項ガ多ケレバ、
順次新シク加ヘマスルモノヲ、例ヘバ五條
ノ二トアリマスノヲ六條ニシテ、現在ノ六條ヲ
七條ニスルト云フ風ニ直シテ行ケバ御覽ヲ
願フノニ大變都合ガヨイノデアリマスガ、
從來此法律ノ改正ノ場合ニ於テハ新ニ加ヘ
マス條文ハ全體ノ改正ニナリマセヌ、詰リ部
分的ノ改正ノ時ニハ、五條ノ次ニ一條ヲ加
ヘヤウト思ヒマス時ニハ五條ノ二ト云フ一
ツノ條文ヲ加ヘテ居リマスノデ、之ヲ五條
ノ二トシテ加ヘテ居リマスガ、五條ノ二ト
云フ一ツノ條文ナノデアリマス、項デハア
リマセヌノデ、一ツノ獨立ノ條文デアリマ
スガ、從來ノ文例ガ斯ウ云フ風ニナッテ居
マス、稍、不便デアリマスガ、從來ノ例ガ斯
ウナッテ居リマスカラ、斯様ナコトニシテ居
リマス

○委員長(土方寧君) 現行法ハ黒デ、改正

案ノ方ハ赤字デ對照シテアルノデアリマス
ガ、終ヒノ附則ト云フ所ハ黒ノ方ノ附則
ハ、第十二條、第十三條ト云フノハ消エル
ノダラウト思ヒマスガ、サウデセウナ

○政府委員(藤井眞信君) 法律制定ノ時ニ
附則ト致シマシテ施行規則ト、ソレカラ其
時ニ於ケル經過ノ必要ノ規定ヲ設クルノ
ガ例ニナッテ居リマスノデ、此附則ハ實ハ此
本法ノ中ニ這入ッテ居リマセヌノデ、現行法
ノ制定サレマシタ時ニ矢張り附則ガ付イテ
居リマスガ、從來ノ例ハ其儘ニ致シテ置キ
マシテ、改正ヲ致シマス場合ニハ又其改正
ニ關スル附則ヲ付ケマシテ、其附則デ今度
ノ改正條文ノ施行期日並ニ其改正ニ伴フ經
過ノ規定ヲ設クルト云フノガ普通ノ例デ
アリマシテ、只今ノ十二條、十三條トアリ
マスノハ、是ハ前申シタ通り實際ノ適用ガ
ナクナル筈デアリマス、此十二條、十三條
ト云フ此書方モ、最近ニ於キマシテハ、附
則ニハ條ヲ附ケナイノガ普通ノ例デアリマ
シテ、非常ニ附則ノ條項ノ澤山アリマス場
合ニハ、矢張り條ヲ逐フテ附則ノ規定ヲ致
ス例モナイデハアリマセヌケレドモ、一般
ノ場合ニ於テハ附則ノ條項ハ第何條ト云フ
モノヲ附ケマセヌデ、項デ書流シテ居リマ
ス、故ニ是モ一般ノ例ニ從ッテ過ギマセ
ヌ、實際ハ前ノ附則ノ規定モ必要ガナイト

云フコトニナリマス

○委員長(土方寧君) 別ニ御質問アリマセ
又デスカ、アリマセヌケレバ討議ニ移リマ
セウカ、御質問モモウナイヤウデアリマス
カラ討議ニ移リマスガ、ドウ致シマセウ、
遂條ニヤッテ行クノガ順序ダラウト思ヒマ
スガ、ソレトモ一括シテ御意見ノ發議ガア
レバソレヲ問題ニシマセウカ、ドッチニシ
マセウ、逐條ニヤッテ行キマスカ
○男爵北河原公平君 別ニ御意見ガアリマ
セヌケレバ、一括シテ尙ホ討論ヲ省略シテ
御採決ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(土方寧君) ソレデハ一括シテ問
題ニ附シマシテ、改正案ノドノ部分デモ御
意見ガアル部分ニ付テ討議ヲシテ、ソレカ
ラ最後ニハ一括シテ採決スルコトニ致シマ
セウ、別ニ御異議ナイヤウデスカラ、私自
身ハドウモ元々組合ト云フモノハ定款ト
カ、規約トカ云フモノハ、本來契約ミタヤ
ウナモノデアリマス、組合ノ自由ニ放任ス
ベキモノデアアル、出來ルコトナラバ強制徴
收ト云フヤウナコトハ、與ヘヌノガ穩當デ
ナカラウカト自分デモ考ヘテ居ルノデアリ
マス、又現行法ガ免モ角組合ノ三分ノ二以
上ノモノガ設立シヤウト云ヘバ、後ノモノ
ハ強制的ニソレニ這入ラナケレバナラス、
サウシテ又元カラ法人トシテヤル、サウシ

テ營利事業ガ出來ナイ、一體酒造業ハ營利
事業デアルケレドモ、組合ノ方ハ營利事業
ヲシテハナラヌ、ソコデ初メテ公益法人ノ
形ニナッテ來ル、サウ云フヤウナコトデアリ
マスノデ、サウ云フ全體ノ仕組ガ宜イカ惡
イカ、根本ニ疑ヒガアルト思ヒマスケレド
モ、併シ審査スルノハ現行法ノ改正ヲ審査
スルノガ問題ニナッテ居リマス、其根本ノコ
トハ今問題ニナッテ居ラナイ、改正ノ點ダケ
ニ付テ云ヘバ相當ニ問題ハアラウカト思ヒ
マスガ、是ハ差控ヘテ居ル積リデアリマ
ス、其ノ他意見ハアリマセヌカ、私自身ニ
モアリマセヌ

○八馬兼介君 私ハ此改正案ニ對シテ贊成
ヲ致シタイト思ヒマス、モウ既ニ質問ニ於
テ云ヒ盡サレテ居ルコトデアリマスケレド
モ、一應贊成ノ意見ヲ述ベタイト思ヒマ
ス、問題トナリマシタモノハ、五條ノ二ノ
強制徴收：：經費及過急金ノ強制徴收ニ係
ルコトデアリマスガ、大體現行法ニ依リマ
シテ作ラレテ居ル組合ハ、其三分ノ二ガ強
制加入ニ依ッテ、三分ノ二以上ノ贊成ニ由リ
マシテ出來テ居リマスモノデアリマシテ、
是ハ只今迄ハ業務上ニ於テ餘リ不平ヲ聞キ
マセヌノデアリマス、寧ロ一昨日政府當局
カラ申サレマシタ通り、品評會ヲ開イテ品
質ノ改良ヲ圖ルトカ、又ハ特殊ノ技術ヲ有
テ居ル杜氏ノ技術ヲ研究シテ、ソレノ助長

ヲ圖ルトカ、色々斯業ノ發達ノ上ニ於テ多
大ノ貢獻アルモノデアリマシテ、組合員自
身ト致シ、非常ニ此組合ノ發達ヲ希望イタ
シテ居リマスノデアリマス、尙ホ將來ニ於
キマシテモ、此組合ノ發達ヲ非常ニ希望ヲ
シテ居リマス譯デアリマスガ、其缺點トシ
マス所ハ、經費ノ確實ノ收入ヲ得ルト云フ
コトガ非常ニ問題ニモナリ、又此發達ニ支
障ヲ來ス現狀デアリマシテ、是ノ確立ヲ得
ルト云フコトノ爲ニハ、非常ニ皆ガ希望ヲ
致シテ居ルヤウニ聞及ンデ居リマス、就テ
ハサウ云フ場合デアリマシテ、改正法ノ通
過ニ對シマシテハ、非常ニ當業者ハ希望イ
タシテ居ル譯デアリマスカラ、ドウカ此案
ノ通過ニ對シテハ御贊成アラムコトヲ希望
シ、又自分ノ贊成ノ意見モ申述ベタイト思
ヒマス

○委員長(土方寧君) 別ニ御意見モナイヤ
ウデアリマスガ、贊成意見ノ方ハ、モウ此
改正案全部ヲ一括シテ採決シテモ御異存ア
リマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(土方寧君) ソレデハ此全部贊成
ノ御方ハ手デモ舉ゲテ下サイ
〔贊成者多數〕
○委員長(土方寧君) 全會一致デス、是デ
閉會イタシマス
午後二時三十分散會

出席者左ノ如シ

委員長 土方 寧君
副委員長 男爵北河原公平君
委員 子爵織田 信恒君
子爵舟橋 清賢君
高廣 次平君
八馬 兼介君

政府委員

大藏省主稅局長、藤井 眞信君